

給食委員会

春の行事食

『山菜づくし御膳』

季節を感じられる食事を提供したい…と目標を決め、春は『山菜づくし』に決定。山菜の提供者は何と職員【ひまわり山菜採り部隊】!! わらび、孟宗、赤みず、タラの芽、うど等山菜のオンパレード。テーブルに乗り切らないほどの料理に、お客様より「どれも美味しくてぜんぶ食べたよ!」と最高の誉め言葉を頂きました。

下処理は私達にまかせて…

昔は良くやったもんだなあ〜

山菜の天ぷら!



美味しくて箸がとまらない!



山菜づくし御膳
 5月22日(第)の昼食は山菜づくし御膳…山菜提供者は「ひまわり山菜採り部隊」熊との遭遇に怯えながらも、皆様に季節の味を楽しんで頂きたくご準備致しました。
 今回のメニューは…
 旬ごはん
 うるいの味噌汁
 うどの葉とタラの芽、アスパラの天ぷら
 うどの胡麻和え
 わらびのおひたし
 みずの油炒め
 胡麻豆腐
 香の物
 のすてすて
 旬の味をお楽しみください
 ひまわり給食委員会

山菜提供者は「ひまわり山菜採り部隊!!」熊との遭遇に怯えながらも、皆様に季節の味を楽しんで頂きたくご準備致しました!!



木村さん

三浦さん

鈴木さん



佐藤さん

浜中の「すけそう」様でいちご狩り

いいずん・アプラ



しあわせだの〜



浜中の「すけそう」様で、旬のいちご狩りを楽しんで来ました。甘くて、とっても大きくて美味しいのはもちろん!! 「見る」「香る」「触る」と体中にいちごが染み渡るのを、満喫したひと時でした。いちごを思う存分食べて、「もう…食べられない」ってなんて幸せなんでしょう!!



おいしい♪



一口では食べきれない!!



下の方にもおっきなものあるの〜

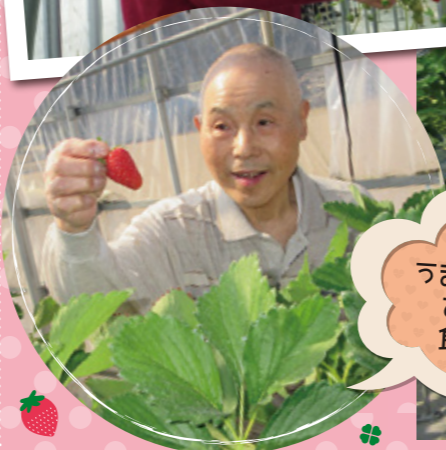


とれたては甘いこと♪ 甘いこと♪



孟宗づくし御膳を堪能

いいずん たらふくてい 多楽福亭様



うまさうだのー あんたも食べれー



湯田川の「多楽福亭」様にて、孟宗づくし御膳を頂きました。各家庭では孟宗も食べ飽きた頃と思いきや「やっぱり地物だの」「どれ食べても美味しい」と召し上がるグルメの皆さん。幸せ一杯のひと時でした。



ひまわり



高口光子氏
研修会開催

『認知症ケア』～不適切ケアについて～

訪問介護では1対1という事もあり、その方の状態だけでなく、気持ちを考える余裕があると思いましたが、それでも理解するなどまだまだできてはいません。介護度や障害の大きさにかかわらず、私達介護員はうれしい、ホッとする、気持ち良いを引き出すのが仕事と学びました。おひとりおひとりの生きてきたその人らしさを支える仕事に誇りを感じます。さらに、得意だったこと、今できる事等しっかりと考えられるように頑張りたいと思います。(大川 貴子)

不適切ケアとは：頭でわかっているつもり、ついついやってしまう行為。それを放置しておく、虐待に繋がっていくかもしれない。自分のケアを振り返り、不適切ケアを行っていないかを確認し、それが何故いけない行為なのかを具体的に言葉で伝える難しさや、私達は何の為にケアをするのかを学んだ研修会でした。

本人の努力ではどうにも出来ない障害を抱えながら懸命に生きている方を支えぬのが介護の仕事だと聞いて「支えぬ」という言葉にとっても重みを感じました。又対応はわかっている、口で説明するとなると難しく、自分も誰かに教える時にわかりやすく説明し理解してもらえようという言い方をもっと学ばなければいけないと感じました。便秘と不穏の関係についてもとても興味深く、不穏になる原因を日常生活のお客様の言動から探していけたらもっと良い仕事が出来ると思い、細かな仕草や行動にもっと注意してみようと思いました。(浅井 かな子)

不適切ケアは誰でもやってしまう、その人を思い一生懸命だからこそ自分で不適切か、適切かわからなくなってしまいうという話を聞き、今までの自分の介護はどうだったのか思い返しました。私達は、間違いや失敗をしてしまう、それに気づき直すことが大切だと改めて感じました。自分の介護はこれから何を指すのか、改善すべきところは何なのか、振り返ることを忘れずに日々のサービスを行っていきたいと思います。(松野 永里加)

「旅人の話」

ある町がありました。一人の旅人がその町にやってきました。町の入り口の門のところに一人の老人が座っていました。

旅人は聞きます。
「おじいさん、この町はどんな町?」

おじいさんは聞きます。
「あなたが今までいた町はどんな町でしたか?」
旅人は答えました。
「いやあ、前にいた町は嫌な人ばかりでろくな町じゃなかったよ」
「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」

また別の日に旅人が来る。
「おじいさん、この町はいったいどんな町ですか?」

おじいさんは聞く。
「あなたがこの前にいた町はどんな町ですか?」
「私が今までいた町は、素晴らしい町で、人々は親切で、あんなによい町はありませんでした」
「そうですか、この町もあなたがいた町と同じです」と答える。

これは逸話です。
いい方はいろいろあるようですが、昔からある有名な話です。
二人の旅人が来た町は同じなんです。
結局この逸話のいいたいことは何か。

環境と言うものは「その人の心が決める」ということです。

我々が何の為に学ぶのかというのは環境をよりよくつくるために学んでいるわけです。環境をつくるのはその人なんです。その人の心が環境を決める。



環境に左右されるのではなく環境をつくれる人間になりたいものです。

メルマガ 「致知出版社社長の小さな人生論」より引用



に残るお話



株式会社ひまわり ☎0235-25-5145 www.himawari-s.co.jp

〒997-0834 山形県鶴岡市稲生一丁目3-5 アメニティハウスひまわり2F



居宅介護支援事業所・訪問介護事業所
アメニティハウスひまわり
グループホームひまわり
☎0235-25-5145
鶴岡市稲生一丁目3-5



エタニティハウスひまわり
☎0235-25-5160
デイサービス いいずん
☎0235-64-0604
鶴岡市稲生一丁目3-45



デイサービス
アブラ
☎0235-64-0302
鶴岡市稲生一丁目4-53

委員会活動 スタート 5S委員会

早朝ボランティア



早朝から多数の社員さんから参加して頂き、草むしりを行いました。前日の雨が作業をスムーズにしてくれたようで、1時間という短い時間のなか、かなり生えていたひまわり周辺の草もすっきりしました。終了後のカツサンド…美味しかったなあ。